

# 代表質問

## 高齢者福祉、区民サービス等 4 点について問う



自由民主党 佐藤 真理 議員

### 高齢者福祉について

今日の介護は、家族の負担が大きい在宅介護の方向にあり、介護する側のとりがなれば介護施設振るも時間の問題である。専従的に家族の誰かを介護している方、何が一番欲しいかと尋ねたところ、「自分ひとりの自由な時間」と「まじまじと話すく来てくれる」という声が多かった。水区独自の施策をさらに充実させていることは承認しているが、多様なニーズに対応するため、地域住民の助け合い、支え合いの精神に基づいた相互互助の活動や地域ミニミニエールの力をさらに介護施設に生かしていくべきと関係者から要望されている。画一的な近隣関係をつくるのではなく、より行っている様々なコミュニティ活性化支援に加え、シニアクラブへの支援や、愛的な形で相互の情愛、友愛の架け橋を掛けたい。他方、介護保険制度を軸にした、制度で対応できないところを生活支援

型のサービス活用で補う。また、区と関係機関との連携を密にし、ボランテアと高齢者を結びつける「ディネート機能の充実、強化を進めていく。

問 渋谷区に住み、渋谷区で働くホームヘルパーをはじめ福祉関係者やボランティアの方の生活の質の向上と充実を図り、さらに福祉に携わる方が渋谷に住み続けたい。ために、住宅費の補助や労働時間を柔軟に調整してサービスを受けたいというニーズは考えられないか。

区長 二提言の家賃補助制度やポイント制度などは、膨大な支出負担が必要であり、ボランティアの活性化にどの程度役割を果たすが、さらに検討が必要と考えます。

### 区民サービスについて

問 地下、地下の夜間休日窓口へ行くには急な階段がある。体の不自由な方や高齢者の方への配慮として、場所の移動あるいはエレベーター、エレベーターのない階にエレベーターを設置してほしい。また、婚姻届提出者の列が途絶えないよう、区民センターに適切な場所を見つければよい。当面は事前連絡により、一階又は二階の玄関を開け、エレベーターを利用してもらう。あるいはカメラ付インターフォンを設置し、職員が介助する。また、婚姻届が多くなる見込まれる日については、一階または二階を開け、別室をお待ちいただく体制を整えたい。

区長 メールによる相談、受付体制の整備等、ITを活用した区民サービスの向上策を

う推進するのか。

区長 スポーツ施設以外の予約システムについては、導入に向け検討をしている。また今年度「ムネージのリアル」の中で、各課に「リアル」を記載するなど、充実を図り、メールでの相談に対応できるようにしたい。証明書自動交付機を本庁に増設し、待ち時間の短縮や夜間における交付に対応したい。

問 今まで独自に機能していた学校図書館にインターネットを通じ、相互の連携を持たせること。児童、生徒、さらに読書の楽しさを広げてもらいたい。各学校と新中央図書館をはじめ区内外図書館を結ぶシステムを導入してほしい。教育費、設備等の条件整備が必要であるが、新中央図書館のシステムの構築のなかで検討していく。

### 区民サービスについて

問 JTB エンスタアや



秋のこととて

クレジットカードの納税、滞納整理手法の新たな取り組み、新たな財源を見出す等、それぞれが財源に恵まれていると見守ることができても職入確保ができると思つていい。

### 災害対策について

問 十月一日から始まる緊急地震速報の活用策について何

### 災害対策について

問 耐震シェルターに緊急地震速報受信のための専用装置を設置する、システム上の問題あるいは避難勧告時の誘導など、運用方法について

区長 情報収集、見守り、携行の問題が生じ、地域ごとの防災ガイドを、自主防災組織と協働で作成し、防災訓練等に配布すること。対向路、渋谷区には重要な橋梁が数多くある。災害時の備えとして、国、都、区との連携はどのような状況か。

問 働く保護者らとB会員の時間を延長してほしいとの要望が多い。一方で、土日の参加者が非常に少なく、効果的な事業が行われているか疑問に感じるとの指摘もある。この実態をどう検証して改善に向け検討しているのか。

### 災害対策について

問 夏休みの利用については、時間の拡大や、A会員でも利用できるように等々の要望に対して、改善が行われたらどうなるか。

### 災害対策について

問 待機児解消のため、保護者が働いている、いないにかかわらず利用することができ、集団活動、異年齢交流に大切なことと集団を保護し、認定こども園としての進捗状況と具体的な取り組み、専業主婦設置場所等について、問う。

区長 幼稚園の設置を活用した幼稚園型の施設が適当と考えられ、設置場所は既存の保育施設や周辺地域の保育ニーズを考慮し決定する。募集年齢や施設設備、カリキュラム等についての内容が、早期開園委員会の検討に委ね、早期開園を図りたい。

## 震災対策、地域貢献人材住宅補助制度等を問う



公明党 明 英隆 議員

### 震災対策について

問 補助予算除細則設置を高く評価する。AEDは救命救命には必要不可欠であり、使える人は必ず必要とする。救急隊の普及にどう取り組んでいるのか。

### 震災対策について

問 補正予算除細則設置を高く評価する。AEDは救命救命には必要不可欠であり、使える人は必ず必要とする。救急隊の普及にどう取り組んでいるのか。

区長 救急隊の普及にどう取り組んでいるのか。

問 周知徹底を図ってきた。自己負担なく、防災ベッドや耐震シェルター等の提供を行う防災助成制度の周知徹底を図ってほしい。

### 地域貢献人材住宅補助制度について

問 何らかの形で地域貢献している若い人たちに、例えば五月五日の家賃補助するなど、人材確保を検討されたら。

### ヒートアイランド対策について

問 ドライミストは、人工の霧で冷却効果が冷やすドライミストは有効な手段であり導入に向けて検討したい。

区長 打ち水の運用を応用し、放水車で渋谷駅周辺等に放水したいかがか。

会派名略称 自由民主党 渋谷区議会自由民主党議員団 公明党 = 渋谷区議会公明党、民主党 = 渋谷区議会民主党

A E D 区役所 階



代官山・神宮前エリアや渋谷駅周辺では、改善が進んでいる。各エリアの再開発等についても進めたい。施設等に取組む機会を捉え、また、民間での駐車整備時に、バイク駐車スペースを整備するための促進策が取れないか。

区長 機会を捉え、開発事業者等への積極的な働きかけを進め、台数確保に力をつけ強く協働を進めたい。また、東京都道路整備保全公社の整備費補助制度のあつせんなど、民間支援を引き続き進める。

**区施設整備について**

区長 敬喜館のお風呂も、一般の方に夜間有料で開放したらどうか。

区長 「提案のとおり、地域の美観を損なえ、検討したい。

問 認定こども園の増進について、その後の進捗状況、検討状況を伺う。

区長 本区でも幼稚園型こども園を設置する。既存の保育施設や周辺地域の空き地を二つを考慮し、設置地を検討したい。

**高齢者に対する生活援助について**

区長 補正予算で提案の、区独自の高齢者へ生活援助サービスを高く評価する。ぜひきめ細かな対応をお願いしたい。

区長 今の段階は、介護保険制度のひずみや不都合な部分への区の施策として修正し、高齢者にとっての課題を解決するきっかけに、制度実施にあたり、きめの細かな対応をしたい。

**快適な生活環境の確保について**

区長 本区は、商業地と住宅地が隣接しており、飲食店からのおにおいや騒音の問題が生じている。良い対策はないか。

区長 区は、脱臭装置の導入や騒音対策設備に対する相談等、個別事情に対するアドバイスを通じ、区民の相談にきめ細かく対応したい。



**都区財政調整制度、ゴミ及び環境問題を問う**

区長は、個性ある財政運営が展でるべき制度を確立し、向う、税の本音はどうか。あり方、主張を述べたい。

区長 都区財政調整制度をなくすには、法の改正が必要。区が基礎自治体として充実にするために、連州制を推進する。

問 区税の本年度増収の増は、三位一体改革の影響か。

区長 納付動向も増収増進にコミ二級市システムを導入し、区民税、国民健康保険料徴収に吉様の考えはないか。

区長 三位一体改革は、職権への質的や苦情対応のため。また、一税と国保等のコミ二級市は、来年度導入に向け準備を進めたい。

**ゴミ及び環境問題について**

区長 回収しているペットボトルの、再製品比率は、清掃リサイクル部長、約九三%が再生素材。

問 本年十月、区の一部地域でサイマルリサイクルを始めるが、発生する可能性がある危険性を解消する準備は、清掃リサイクル部長、収集したプラスチックを清掃工場で

焼却し、焼却炉の安全性や排ガス、排水、焼却灰の環境負荷を調査検証した上で実施する。

問 コミの減量化や分別種類の三分は、区民の理解と協力が重要。説明会開催し、丁寧な取り組みを、清掃リサイクル部長、理解と協力を得ながら取り組む。

**渋谷区高齢者センター及び地域生活支援センターについて**

問 高齢者センターの利用の少ない時間帯の区民開放は、福祉保健部長、幡ヶ谷高齢者センターの夜間の一般利用は、地域団体を基本に検討する。

問 本町地場生活支援センターは、地域包括支援と高齢者の複合施設として、六十以上の健康な人も利用する施設に、福祉保健部長、要望を踏まえ、交流の場となる施設にする。

**後期高齢者医療制度について**

問 二十年四月からの、後期高齢者医療制度の周知は、福祉保健部長、方法が明らかになった段階で、区ニュース等で周知、軽減制度は、職権により予定、決定された制度と同様に周知する。

**介護ヘルパー資格取得について**

問 ヘルパー資格取得に補助金の安否や養成講座を実施

民主 党  
吉田佳代子 議員

登録し、事業所に紹介を、また、事業所から支援の対応を、区長、二級修者に、受講料の一部を助成している。社会は、訪問介護員二級を養成、受講料軽減を図る。求人支援は、都社協の対応を待ちたい。

問 NPO法に経営のグルーブホームの設置を支援しては、区長、独自に整備費を設けて、支援策の拡大を図っている。NPOにも目を配りたい。

**防災及び安全対策について**

問 震災発生時の電力復旧を、東京電力と話し合っているか。区長 東電は、復旧は百と告げている。ご理解を。

問 区役所、学校、特養ホーム等に緊急地震速報の専用端末の設置を、また、全国瞬時警報システム導入の検討は、区長 システムは、機能に限りがあり、本区は、小中学校、特養等の耐震化が先決。速報は、パソコン等を検討し対応。問 国や都から代々木公園八丁をもらったか。部長 展開地の説明を受けた。区は、区民のサイル防衛拠点使用に反対し、区民への情報提供も具体的取り決めはないと報告を受けた。

**旧大和田小学校跡地問題について**

問 ランニングコスト四億円



渋谷清掃工場

**平和問題、区民生活防衛等について問う**

日本共産 党  
苦 孝二 議員

問 区民は参議院選挙で示された国と平和憲法を守るの誓いのもと、つき政府に対する憲法第九条の改正に反対する意見書を提出すべきである。悪法を踏みしり、区民の怒い場を奪うミサイル防衛部隊の明治公園、代々木公園配備に反対すべし。政府に対し非核三原則の厳守を世界に宣言するよう求めよ。戦

運や文化振興のため、区長 教育施設の運用ワンダーランド、国書館、ワンダーランド、子ネネトリウムは、地域親子のニーズに対応できる施設としたい。

問 区内と区外の利用者で差があるのか。また、ホールの命名権による収入や交通手段は、区長 命名権は基本とし、区長 区民優先で、命名権は前向きに取組み、交通手段はコミ二級市の活用など様々な方向で検討する。

問 区内入札制度を働委員会での検討内容も。

区長 個々の企業は是非を検討、追及の委員会ではない。

問 区内入札制度を働委員会での検討内容も。

区長 争、被爆の美相子どもたちがに伝えるため小学生の代表を広島、長崎に派遣すべき。

問 最終的には国民の判断、都と防衛省の取り決めはない、と聞いている。考えていない。北京西城区への中学生派遣までこれまで同様、幅広い交流を進めたい。

**区民生活防衛について**

問 政府の生活防衛策によって、区民の生活は深刻になつていない。定率減税や老年者控除などの復活を政府に要求すべき。都知事に対するしり、区民生活を守るための住民税の免除枠を拡大すべき。世田谷区のように介護保険の委託認定を受け、区民に障害者控除の認定書を発行し税金負担を軽減すべき。政府の対応の推移を慎重に見守りたい。地方税法

問 区長は、個性ある財政運営が展でるべき制度を確立し、向う、税の本音はどうか。あり方、主張を述べたい。

区長 都区財政調整制度をなくすには、法の改正が必要。区が基礎自治体として充実にするために、連州制を推進する。

問 区税の本年度増収の増は、三位一体改革の影響か。

区長 納付動向も増収増進にコミ二級市システムを導入し、区民税、国民健康保険料徴収に吉様の考えはないか。

区長 三位一体改革は、職権への質的や苦情対応のため。また、一税と国保等のコミ二級市は、来年度導入に向け準備を進めたい。

問 ヘルパー資格取得に補助金の安否や養成講座を実施

問 ランニングコスト四億円

\*質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、区政資料コーナー、区立図書館で会議録(12月中旬発行予定)をご覧ください。

学童館での保育



**問** 子育て支援の強化について  
 低所得者が特別を設けて自己負担が無く耐震強化工事ができるようにすべき。当該区でもマンションの耐震補強工事補助制度を実施すべき。

**区長** 高齢者等の住宅は助成の範囲内であれば易易改修及び一般改修も認められている。老朽木造住宅が緊急課題。

**問** 子育て支援の強化について  
 子育て支援の強化について、共働きの子も安心して放課後をすごしている学童館閉止は誤りであり撤回すべき。渋谷区の保育を担っている私立保育園、保育室に対する支援を継続すべき。区立保育園のゼロ歳児へのおむつ支給制度を復活し、保育員の耐震強化工事を直ちに進める。区立保育園職員への欠員を早急に補充せよ。

待機児解消は認定こども園でなく認可保育園設置で、所得税法施行で制限されてあり、要支援費、要介護者が該当するものではない。

**区長** 撤回する考えはない。翌年度予算の中で検討。復活は考えない。逐次進める。区長責任で対応する。

多様なニーズに対応した認定こども園が効果的。

**旧大和田小学校跡地施設建設問題について**  
 当該事件を起した企業に対し、指令停止処分をせず発注の対象にするという区長

**実施計画について**  
 総合窓口体制の整備、区施設のあり方検討、行政運営の検討、情報セキュリティ監査の実施等とこまに進み、具体的にもう一度実施していくのか。また、平成二十年度を初年度とする実施計画の検討を提案する。

**区長** 総合窓口体制の整備について、住民戸籍課のレイアウトを変更し、番号交付機の設置、フロアマネジャーの配

**「一斑を見て全豹を卜す」の区政に期待し、課題を問う**



フォーラム  
**金井 義忠 議員**

**一般質問**

**問** 総合窓口体制の整備、区施設のあり方検討、行政運営の検討、情報セキュリティ監査の実施等とこまに進み、具体的にもう一度実施していくのか。また、平成二十年度を初年度とする実施計画の検討を提案する。

**区長** 総合窓口体制の整備について、住民戸籍課のレイアウトを変更し、番号交付機の設置、フロアマネジャーの配

の姿勢は公正な入札制度をゆがめるものである。即ち改められ、区民が厳しい生活に苦しんでいるなかで、百十億円もの莫大な血税を投入する計画は撤回の考えはない。

**区長** 計画撤回の考えはない。埋蔵文化財保存については、鷺宮町のマンション建設予定地の発掘を見直し、弥生時代の遺跡を保存せよ。

**問** 調査結果を見直したい

**区長** 調査結果を見直したい。弥生時代の遺跡を保存せよ。

**問** 整備の検討経過と条例化  
 区長 多額の経費が見込まれること、権利関係に関わる課題があること、整備後の管理等の課題が多く、十分な検討調査が必要であるが、早期実現に向け努力したい。

**地籍調査について**  
 問 年次計画を立てて行うべきでは  
 区長 財政負担が大きく権利関係が複雑である。三級公共基準点として二百十点を整備しているで資料を活用し、土壌の境界確定等現況測量の参考にしていただきたい。

**問** 入札が不調に終わったがその後の入札について伺う  
 区長 予定価格の見直しをした上、速やかに再度の入札を行う手続きを進めている。

**問** 小中学校での教育について  
 問 スクールでの教育について配置の効果とその利用状況、少人数指導について伺う。  
 区長 児童生徒の不安や悩みを初期の段階で聞くことができるため大きな問題に発展する前に対策が立てられること、学校では組織で問題解決を図る体制が進んだこと、特に小中学校では不登校の児童が減少した、便りの発行、講演会実施等や教員と保護者との連携がしやすくなった、利用状況について、昨年度、全小中学校で三千六百二十七件、中学校で三千二百七十七件、少人数指導について、子どもたちの発達段階や教師の指導内容を吟味し、それぞれに

さわしい方向を進めていく。  
**幼・保一対化について**  
 問 区長への対応を伺う  
 区長 認可保育園認定こども園の設置に向け準備を行う。

**後期高齢者医療制度の見直しと介護保険制度の改善を促す**



日本共産党  
**五十嵐千代子 議員**

**問** 早期に結論を出したい  
 問 すべての在宅ケア・ビジネスの軽減を第四段階に拡大  
 区長 収入額と積貯率を基準にしている。

**問** 特養ホームとグループホームを急いで建設すべき  
 区長 特養は年内に空きグループホームは協議中。

**線形道路について**  
 問 線形道路について、中央環状新宿線建設事業について  
 問 運送前後の大気測定調査と測候所の増設を、健康被害者や建築被害者に対し、抜本的対策を都と首都圏に要求し取り回し道路の急ぎな安全として利用できるように改善を。  
 区長 測定を進める方向。パリ協定を申し入れられている。

**問** 介護保険制度の改善について  
 問 この制度は七十五歳以上の全員から保険料を求め、平均保険料払戻金は国保料の二倍から一九倍となる。滞納すると保険証を取り上げられ、診療回数や薬量も制限しようとしている。国に対し、凍結と抜本的見直しを求め、区長と推移を見守り、結果を待つて検討を進める。

**介護保険制度の改善について**  
 問 制度の改善により、給付が抑制されたり、事業所が存続できない事態になっている。国に対し、制度の改善と国庫負担の引き上げを求め、責任ある区政にならない。  
 問 税制改善により保険料が急激に上がった人々への軽減措置が今年度で終わる。多くの人が軽減措置を利用できるように制度の拡大を。

**NPO支援基金・協働型環境プロジェクト等について伺う**



**長谷部 健 議員**

**問** NPO支援基金の立ち上げについて  
 問 地方自治体がNPO支援基金を立ち上げ、寄附金控除などの税の優遇措置を実施し、寄附金を募り、自治体の審査を通じた団体に活動助成金として助成するシステムがある。渋谷区でもNPO支援基金を立ち上げることを提案す

**問** 協働型環境プロジェクトの提案について  
 問 渋谷区の環境施策が前に進んでいる今、協働型の環境プロジェクトの旗をあげるにはよい時期ではないか  
 区長 温暖化に対する認識が世界的に深くなっており、環境施策は新しい局面に入っている。あるいは新しい旗を立てないといけない。従来の制度、事業をより加速させ、多くの主体との共同事業を進めたい。

**問** はるのかがワレパーク事業の拡大について  
 問 あと二、三カ所拡大  
 区長 公園の地形規模、地域の方の理解、事業費等解決すべき点があるので今後の課題としたい。

る。  
 区長 NPO法が多くの分野でボランティア活動等が盛んではない事業、これからはボランティアだけでなく、力に多岐に類しなければならぬ。NPOの支援に関わる基金の設置であり、NPOそのものに対する支援等についても検討し、制度化に取り組みたい。





地球温暖化、大気汚染、廃棄物処理等の問題他1点を問う



小林 崇央 議員

問 要所に自転車専用を設けレ...

耐震補強未実施の保育・敬老館、廃プラ焼却、公正な選挙



東 敦子 議員

問 診断後、十年間も放置を...



パリの自転車駅

問 十一区は容器包装リサイ...

公正な選挙について

問 焼却炉は埋め立てられ...

公正な選挙について

決算特別委員会審査概要

平成十八年度一般会計歳入歳出決算と四件の決算は、九...

文教分科会

新設青少年センターについて 高齢者入浴について

福祉保健分科会

高齢者入浴について 利用時間の延長を考慮された

総務区民分科会

事務所用パソコン端末の適正...

都市環境分科会

地球温暖化対策として、二...

割賦販売法の抜本的改正を求める意見書

クレジット契約は、代金後払いで商品が購入できると...